

# なかの里・まち体験交流事業

なかの里・まちパートナー「福島県喜多方市」  
消費者モニターツアーの記録


(区立小学校児童・保護者対象)

平成26年10月18日(土)～19日(日)



# スケジュール

- 参加者：区立小学校PTA連合会からご参加いただいた児童・保護者の皆さんと事務局、区立小学校長1名
- 参加者総数29名
- 中野四季の都市を一周し、グリーン・ツーリズムの里、喜多方を目指します！

10月18日(土)	10月19日(日)
○区役所出発	○各農家で収穫体験
○「おぐにの郷」で新そばの昼食	○リンゴの収穫体験
○米の全量検査見学	○蔵のまち 喜多方自由散策 (喜多方ラーメンの昼食)
○喜多方市まちなか散策 (古代文字と市内巡り・ガイド付)	○区役所到着
○岩月交遊館 夕食交流会・農家さんとの対面式	
交流会後、各農家さん宅で宿泊	

# 車内では

- 児童や保護者の皆さんに、福島県喜多方市の地理や特産品等について、クイズ形式で楽しく学んでいただきました。



食育クイズ  
(野菜編)  
喜多方市  
GTS作成

第3問: 何をするための道具でしょうか?



答え: アスパラガスの花



花や葉が食用で、喜多方には古くから食用のものを多くとっています。  
花は湯で食べたりアム(汁)も取ります。

第2問: 福島県(ふくしまけん)は  
何番でしょうか?  
赤い○が東京(中野区)です

②

喜多方市の特徴

- ・(数の上から)
- ・市内に約4,200の店があります。
- ・今は現代でも、倉庫、納屋、お店などとして、使われています。

⑤

喜多方市(きたかたし)の  
特産品(とくさんひん)

- ・アスパラガス...東北一の生産量です
- ・きゅうり、茄子、トマト、インゲンなど
- ・ぶどう
- ・そば
- ・日本酒、ワインなど

⑨

地理クイズ  
中野区作成



NPO法人 喜多方市グリーン・ツーリズムサポートセンターHPより

- ビデオにより喜多方市での「農泊体験」を、イメージしていただきました。
- ビンゴゲームは大変な盛り上がりで、長時間楽しんでいただきました。
- 秋晴れの土曜日であったため、交通渋滞により到着が少し遅れました。



## 『おぐに交流の郷』 (昼食)

- 旧熊倉小学校・雄国分校を活用した交流施設「おぐに交流の郷」で、地域の方々に地元産の新そばに獲れたて野菜天ぷらを添えて振舞っていただきました。
- この施設は地域の伝統文化（根曲がり竹細工）、食文化（雄国そば）等の発信基地として活用されています。
- 香り高い新そばを堪能させていただきました。
- そばのお代わりをして満腹になった子供たちは、校庭で元気に遊んでいました。



この日は干食のそばを打つそうです。



熱心にそば打ちを見学する参加者

# 米の全量検査見学



説明いただいた「JA会津いいで」  
米穀担当・赤城さん



- 喜多方市で収穫されたお米は安全確認のために全袋（全量）の検査を行っています。
- 今までの検査で基準値を上回る数値が計測されたことは一度もないそうです。
- お米の袋には、バーコードで生産者情報、QRコードで検査情報が示され、確認ができるよう配慮されています。

## 低温倉庫（保管倉庫）見学



こんなにたくさんのお米を見たのはじめて！



子どもたちの疑問に的確に答える、校長先生



- 収穫されたお米は品質を保つため、一定の温度で管理されています。
- 夏場は冷房により15度程度で保管しています。
- 熱心にメモを取りながら、説明を聞いていました。



## 全量検査体験

1袋30kgです  
重いッ!(´`)

- 児童たちは全量検査を体験させていただきました。
- 検査機は1台1,800万円
- 喜多方市内に12台あり、22か所の倉庫を順番に移動させ、検査を行っています。



①掃除機の要領で、空気圧を使い米袋を密着させます

②搬送アームのアシストで、わずかな力で、お米をコンベアーにのせることができます。



③異常があればランプとパソコンの画面で知らせます。





## 喜多方市まちなか散策

- 蔵のまちガイド・宮城さんの案内で「まちなか散策」を行いました。
- 珍しい蔵作りのお寺「安勝寺」を案内いただきました。
- 大和川酒蔵前では、酒作りに使われる湧水を味見
- 「楽篆工房」では全員の名前を古代文字で書いていただきました。
- その後「若喜商店」「大和川酒蔵」をご案内いただきました。



古代文字で「照貴」と書いていただきました。





- お世話になる農家の皆さんがお待ちかねの「岩月交遊館」へ、午後5時半過ぎに到着
- 左上：喜多方市グリーン・ツーリズムサポートセンター・伊藤理事長様より、歓迎の挨拶をいただきました。
- 左中：喜多方市観光交流課・山口室長様より、歓迎の挨拶をいただきました。
- 左下：中野区小学校PTA連合会・姫野会長から、お礼の挨拶を申しあげました。

## 餅つき大会と夕食交流会



- 子どもたちが交代でカ一杯きねを振り下ろしました。
- 保護者の方にもお手伝いいただきました。
- もち米も獲れたての新米です
- お世話になる農家さんやスタッフの皆さんとの対面式を終え、夕食交流会が始まりました。
- とれたての野菜とつきたてのお餅料理が、テーブルの上に所せましと並べられました。
- 宿泊先の農家さんごとにグループ分けし、楽しく語りあい和やかに交流会は進みました。





## 4種類のお餅料理 (写真はイメージです)



ねぎ餅



つゆ餅



きな粉餅

- 先ほど、力をあわせて搗いたお餅が、このようにふるまわれました。
- お餅は、大根料理と一緒に食べると、消化に良くのどに詰まりにくいそうで、大根おろしも出されました
- ねぎ餅は、この地域の郷土料理で、お持ちに長ネギ・おかかをのせ麺つゆをかけたシンプルな料理ですが、お酒にも合います。
- くるみ餅（写真無し）は、くるみの素朴な甘さでおいしくいただきました。
- 夕食交流会を終えた皆さんは、各農家さんへ向かいました。



終了後の後片付けも  
おつかれさまでした。  
<(\_ \_)>





## 2日目



- 本日も雲一つない青空です。
- 各農家で野菜収穫を体験した皆さんは、いっぱいの野菜を持って集合、農家さんも交えて記念撮影
- 喜多方の空に「熱気球」がたくさん浮かんでいました。

# りんご狩り



りんご狩りの説明をする、  
喜多方市GTS遠藤さん



- りんご狩りは、バスを降りてから10分程度歩いた畑で行われました。
- まずは「試食タイム」です。
- りんご農家の佐藤さんから、りんごの獲り方と、おいしいりんごの見分け方を教わりました。
- 今年は熊の出没が多く、畑の周りには熊よけの電線が張られていました。  
(絶対触らないようにと注意)
- 一人3個ずつのりんごをお土産に頂きました。

# 喜多方ラーメンの昼食



有名店はこの行列  
でした。(約50名)



- 喜多方市GTS・渡部事務長様よりお礼のご挨拶をいただきました。
- サプライズプレゼントとして、『皆様のご自宅に、野菜をお贈りいたします』とのこと。参加者は大喜び!!(^\_^)~
- 喜多方市での最後は、皆さん検討を重ねた、思い思いのラーメン店へ向かわれました。
- 交通渋滞により、予定より1時間遅れの午後7時ころ、中野区役所に到着しました。



# 参加者感想（児童編）

（中野区アンケートから抜粋・意訳）

- ねぎをとってたのしかった。
- たくさんいもがとれてうれしかったです。
- いつもより野菜が美味しかった。
- めの前で作っているしんそばをすぐ食べられておいしかったです。農家民宿では、東京では食べられないお米やおやさいが食べられてとてもよかったです。
- 大根をぬいたときがきもちよかったです。いろいろな野菜がどうやってできるか知れてよかったです。
- 米の検査場で、お米を運ぶのが、かっこよかったです。
- こだい文字を学べてよかったです。
- 休み時間が少なかった、泊まるところのトイレが遠くてたいへんだったです。
- 一番楽しかったことはりんごがりです。とても赤いりんごをとりました。お父さんやお母さんも「おいしそうだね」と言ってくれました。食べるのが楽しみです





## 参加者感想（保護者編）

（中野区アンケートから抜粋・意識）



- 目の前で打って頂いたそばを食べることができて、せいじに くだと思いました。もちろん美味しかったです。
- 野菜収穫している子供たちの生き生きとした笑顔はとても印象的でした。
- 収穫体験は親子で楽しい体験になりました。また来たいです。
- ねぎ餅、くるみ餅など初めてでとても美味しかったです。
- 野菜がとても美味しかったです。子供は春菊の天ぷらが食べられるようになりました。
- みんなに逢えて写真を一緒に撮れてうれしかった。
- 野菜・お米など美味しくとても満足ですが、お肉類も欲しい。
- 震災での風評被害の事や、東京の人々にも、野菜やお米をもっと食べてほしい（中略）もっと交流を深めたいという農家の方々の思いなど、いろいろお話ができて、考えさせられました。
- 米の検査場を見て、全く放射能が検出されていないので、安心・安全だと思いました。米や野菜が風評被害にあっていて気の毒だと思いました。

# 編集後記

(文責・同行担当者)



野菜の収穫体験やお米の全量検査など、子どもから大人まで全員が、真剣に向きあい学び・楽しんでいただけたと感じました。

「予想以上に寒かった」「農泊先のトイレが母屋に無く大変だった」など、日常とは違う環境で戸惑う声もいただきましたが、全体を通じ「楽しい企画であった」「また来たい」「もてなされ感がすごい！」などのうれしい言葉で締めくくっていただけたと感じさせていただきました。

短時間に喜多方を感じてもらうために、目一杯の内容となりましたが、時間配分や収穫体験の平均化など、今後に向けた貴重なご意見をいただくことができました。

5・6年生の3名の児童には、「お世話になります」「ありがとうございました」など、一言感想を述べた後号令をかける役を担っていただきました。急なお願いでしたが二日間頑張ってくれました。ありがとうございました。

校長先生は私人としてご参加いただきましたが、車内でのゲームや休憩のタイミングなど、企画段階からの貴重なアドバイスや、様々な場面で子供たちの疑問に答えて頂いたり、楽しみ学ぶことについて大きな後ろ盾となっていただきました。心から感謝申し上げます。

中野区小学校PTA連合会及び事務局の皆さまには、参加者調整など細やかなご配慮いただき、誠にありがとうございました。

喜多方市の皆さまの、真摯な気持ちを実現した良い企画だと感じました。喜多方市の皆さまと、参加いただいた中野区の皆さまに心からの感謝を申し上げます。